

「天孫降臨」

葦原中国を治める大国主神から天神の御子が国を譲り受けることになりました。

そこで、天照大御神は日嗣の御子に、かの国に降って治めなさいと言われました。

すると日嗣の御子は、私の御子である天邇岐志国邇岐志天津日子番能邇邇芸命を降ししようと答えられました。

邇邇芸命が下界へ降られる時、その行く手に神がいました。

天邇受売命が行って尋ねると、私は国神で、猿田毘古神と申しませう。道案内役をつとめに参りましたと答えられました。

そして、邇邇芸命とその一行は猿田毘古神に案内され、筑紫の日向にある高千穂の峰に天降られ、その地に宮殿を築かれました。



廣峯神社の本殿裏にある庚申社には、猿田彦命（猿田毘古神）と天鈿女神（天邇受売命）の夫婦神をお祀りしています。

猿田彦命は、天孫降臨で道案内をしたことから、道開き、交通安全の神さまと信仰されています。

その容姿は、背丈が七尋（12.6尺）もあり、鼻が高く天狗のようなお顔で、目は大きくてホウズキのように真っ赤に輝いているという異様な神さまです。

廣峯神社では、田畑の神さまとしても崇敬され、妻神である天鈿女神とも仲良く暮らされたことから縁結びや夫婦円満のご利益を求めらる方がお参りされています。